St. Luke's International University Repository

Process of Establishment of Accelerated Baccalaureate Program in Nursing

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-06-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 長松, 康子, 佐居, 由美, 五十嵐, ゆかり, 堀内, 成子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/13162

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



短　報

学士編入２年制コース開設に至るプロセス

長松　康子[1)]　佐居　由美[1)]　五十嵐ゆかり[1)]　堀内　成子[1)]

Process of Establishment of Accelerated Baccalaureate Program in Nursing

Yasuko NAGAMATSU[1)]　Yumi SAKYO[1)]　Yukari IGARASHI[1)]　Shigeko HORIUCHI[1)]

〔Abstract〕

Recently, a number of bachelor degree holders who work in other industry have intention to study nursing. The result of our research showed that there is a needs to establish two-years nursing course for bachelor degree holders. However students and graduates three-years nursing course suggested to solve the tight curriculum by integrate the subjects or devising teaching method. In two-years nursing course, lectures were set apart from four-years nursing course and practices were deployed evenly in two years. Also Active learning which is appropriate to the adult learners was employed. Finally we developed an effective nursing course which educates nursing students in two years and thirty students admitted in 2017. Evaluation and necessary modification will made in the future to integrate the two-years course even better.

〔Key words〕 bachelor, accelerated baccalaureate program in nursing

〔要　旨〕

近年，他の専門で学士号を取得した者やすでに他の職業についている者で，看護を学びたいと考える者が増加している。アンケート調査等を実施したところ，学士編入２年制コース開設のニーズがあった。一方で３年制コースの学生・卒業生からは過密なカリキュラムを避けるための授業科目の統合や教授方法の工夫の必要性が指摘された。そこで，２年制編入生は別クラスで授業を行うことで，学習の順序性を保ち，専門科目の理論と演習，実習は短時間で連動するよう配置し，実習は，２年間でまんべんなく配置した。さらに，成人教育にふさわしく，看護学を自ら学ぶアクティブ・ラーニングを取り入れた。その結果，２年間の学修で十分な教育効果を上げることができる教育内容のコースを開発し，2017年度に30名の２年制コースの編入生を迎え，開講に至った。今後は，実施したコースを評価し，２年間でよりよく学べるカリキュラムとなるよう洗練させていく予定である。

〔キーワーズ〕 学士，看護速習プログラム

Ⅰ．はじめに

厚生労働省の推計によれば，10年後には３～13万人の看護職者不足がみこまれる[1)]。一方で，地域医療構想による医療提供体制改革に基づく試算では，病院勤務看護師が余剰に転じ，訪問看護師の需要が増える見通しである。超高齢化が進展するこれからの時代，看護師には，自律的な臨床推論や判断，専門職者間連携の必要な場面でのリーダーシップや調整役割の発揮，倫理的配慮や権利擁護など，高度で質の高い役割を担う必要があることから，学士号を有する看護職への期待がますます高まっている。

１）聖路加国際大学大学院看護学研究科・St. Luke's International University, Graduate School of Nursing Science

受付　2017年10月27日　　受理　2017年11月28日

近年，他の専門で学士号を取得した者やすでに他の職業についている者で，看護を学びたいと考える者が増加している。日本看護協会によれば，３年制看護師学校入学者の７－８％，准看護師学校に至ってはそれより多い８－９％が大学卒業者である[2]。同協会は，准看護師学校に入学する大学卒業者も本来は看護師資格を希望していると考えられるとした上，学士号を有する者で，看護を学びたいと志願する者が長期的に安定して存在すると分析している。学士号を有する者に対する看護学教育として，わが国には看護大学の２年次に編入して３年間で看護師国家試験受験資格を取得するコースがある。しかし，すでに社会人として経済的に自立した者にとって，辞職して３年間就学することは，教育費のみならず生活費の負担が発生する。おりしも保健師助産師看護師法の改正により，看護師の養成期間３年の縛りがなくなったことから，学士号保持者向けの新たなカリキュラムを構築した。本稿はそれに至った経緯を報告する。

１．米国での看護速習プログラム発展の歴史や特徴

米国では，1971年にセント・ルイス大学がはじめて看護速習プログラム Accelerated Baccalaureate Program in Nursing（ABSN）を開設した[3]。今世紀に入り，高齢化による看護師不足と経済低迷による高い失業率の両者を解決する ABPN は米国政策として推進され，2012年までに230課程へと発展をとげた[4]。

現在では，11～18カ月で看護師を育成するコースが293課程，修士号を取得できる３年制コースが62課程ある。４年生の看護学士課程をもたず，ABSN コースのみという大学もある。デューク大学看護学部は，学士号をもつ成人学習者に対する２つ目の学士号（Second Degree）としての看護学コースと銘打った16カ月の ABSN コースを[4]，ワシントン大学看護学部は２つ目のキャリアとして15カ月の ABSN コースを実施しており[5]，それぞれ所定の GPA を修めていること，統計学などの科目を修了していること，などを入学条件としている。

２．本学が学士編入２年制コースを設立する意義

聖路加国際大学（以下，本学）は，これまで看護教育界のパイオニアとして常に新しい看護教育課程の開発を行ってきた歴史と実績を有する。新たな健康課題に対応する看護教育の開発だけでなく，社会の変化に逸早く対応して，社会のニーズに応える看護教育を実践してきた。その結果，1988年に日本で初めて看護学の博士課程を開設した。1997年には，それまで看護系短期大学卒業生を対象にした編入学制度を，大学卒業生（他分野の学士号を持つ者）を対象とした制度に変更した。当時の保健師助産師看護師法において，教育期間が３年と定められていたことから，学士編入学は２年次への編入とした。この制度によって20年にわたり教育を継続し，329名の卒業生を輩出している。現在では，多くの大学が看護学における学士編入３年制課程を開設してる。しかしながら，米国のように，学士号取得者がセカンド・キャリアとしてより短期間で看護師国家試験受験資格を取得できるコースはなかった。そこで，学士編入２年制コースの開発と，わが国における学士編入２年制コースのニーズについての検討を先進的に行ってきた。

Ⅱ．２年で看護師国家試験受験資格を可能にする学士コースのニーズ

コース開設に先立ち，学士編入２年制コースのニーズを明らかにするため，アンケート調査，学士編入３年制コースの学生及び卒業生に対する聞き取り調査，および学士編入２年制コース説明会におけるアンケート調査を実施した。

１．アンケート調査

2015年の本学のオープンキャンパスおよびホームページに開設した調査サイトにおいてアンケート調査を実施した結果，合計437名より回答があった。回答者の概要は**表１**に示すとおり，平均28.5歳で，現在の専門分野は文系・理系を問わず多岐にわたった。

学士編入２年制コースが開設されたら入学したと回答した者は，279名（64％）に上った（**図１**）。入学目的は**図２**に示すとおり，看護師（59％）だけでなく，保健師（36％）や助産師（25％）も視野に入れ，国内外を問わず，臨床，行政，教育の分野で看護職として社会貢献をしたいと考えていることがわかった（**図２**）。

学士編入制度による進学において重視することについては，環境と回答した者が最も多く（413名），次いで最短年限で学びたい（255名），働きながら学びたい（220名），学費を考慮する（98名）の順で多かった（**図３**）。

表１　回答者の概要

n=437

年齢	15–52歳　平均	28.5歳
性	女	346
	男	91
現在の専門分野	看護学生・准看護師	27
	介護，福祉，鍼灸，医歯薬	28
	政治，経済，商学	31
	語学	15
	教育（保育を含む）	13
	栄養	6
	心理	2
	その他文系	31
	その他理系	29

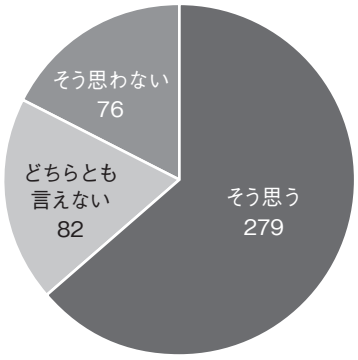


図１　２年間で看護を学べ，国家試験受験資格が得られるコースが大学にできたら入りたいか（n=437）

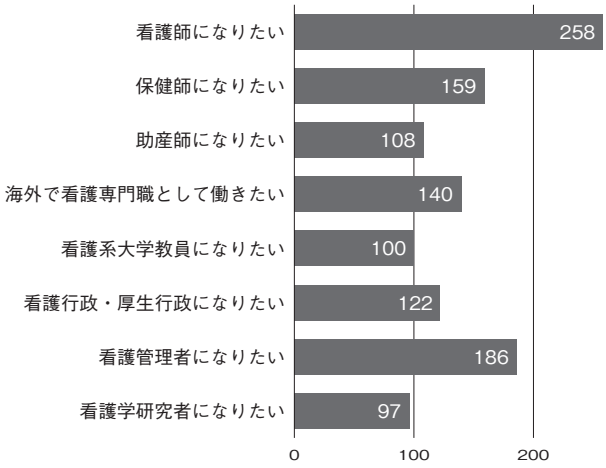


図２　入学目的（n ＝437）

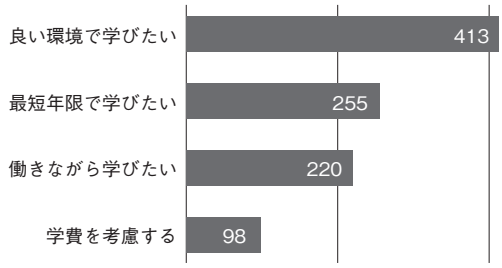


図３　学士向け看護コースを選択する際に重視すること（n=437）

２．学士編入３年制コースの学生・卒業生への聞き取り調査

８名の学生・卒業生に対してインタビューを実施し，現行３年制コースの課題と２年制コースに対する意見を尋ねた。

１）学士編入２年制コースの課題（表２）

これまで実施してきた３年制コースの学生・卒業生によると，３年制コースには初年度の過密なカリキュラムとそれによる課題や自己学習達成における困難があることがわかった。また，４年制のカリキュラムに編入することにより，学習上望ましい順序やパターンで学べないという問題も指摘された。

表２　学士編入３年制コースの課題

・カリキュラムが過密である
・忙しい時期と余裕がある時期のバランスが悪い
・理論を学んで実習するという学習パターンになっていない
・学習する科目の順序性が悪い
・自己学習時間が足りない
・自己学習に必要な学習物品が足りない
・一度に出される課題が多すぎてこなせない

２）学士編入２年制コースについての意見

学生・卒業生からは，さらに過密になるであろうカリキュラムや限られた時間でこなさざるを得ない課題の負担を理由に，２年制コースに対する懐疑的な意見が多く聞かれた。斜体字は回答の抜粋である。

“これ以上タイトな授業になったら，国家試験対策が間に合わないと思う。”

“３年制ですらとても勉強が追いつかなくて，厳しい。２年制になったら，もっとつらいと思う。”

“２年制にするなら，課題は優先順位を決めて厳選したほうが良い。”

一方で，学士にとって，履修期間を短縮するとは切実な問題なので，リスクを承知で履修したいという意見もあった。

“自分は３年制コースで良かったと思うので，２年制コースにすることを薦めないが，もし自分が受験するきに２年コースがあったら，受験していたと思う。それ位学士にとって１年の重みは大きい。”

３．説明会参加者の意見

学士編入２年制コースの周知と，入学希望者の意向調査を目的に，７月，10月に３回の説明会を実施した。その結果，女性37名，男性４名，合計41名の参加者があった。参加者に対してアンケート調査を実施したところ，39名（95.1％）が２年制学士向け看護コースを受験したいと回答した。参加者からは，「３年制より学費や生活費が節約できる」，「早く看護キャリアを始められる」などの理由から，２年制コース開設を望む声が聞かれた。

“（２年制コースは）時間とお金が節約できるのが魅力的。”

“いったん就職し，独立した社会人が看護師を目指すにあたって大変望ましい制度であると思う。２年間で再び職業生活に戻れるので，労働者，納税義務者として早期に社会貢献できるし，就学中の生活費を節減できる。”

“学士は，年齢的に，可能な限り効率よく勉強をして，１年でも早く看護師としてのキャリアをスタートしたい。”

“２年で学べることで，大学院進学を考えることができ

る。”

一方で，「短期間で学ぶことに不安を抱いているので，現行の３年コースで学びたい」，「タイトなスケジュールが心配」という意見もあった。

以上により，過密が予想されるスケジュールに対する懸念はあるものの，学士編入２年制コースのニーズがあると判断した。

Ⅲ．２年で看護師国家試験受験資格を可能にする学士コースの開発

１．２年制コースの開発過程

本学では2013年度より，学士編入２年制コースの検討を開始してきた。2014年度に時間割の作成等を進め，修得すべき科目が２年間に収まることの確認を行い，2015年度には，科目の具体的な運営方法を検討した。学士編入３年制コースのカリキュラム作成にあたっては，前述した初年度の過密性の緩和，必修科目単位数の少ない最終学年の学習意欲保持，および成人学習理論に基づいた主体的な学習方法の導入が課題であった。

そこで学士編入２年制コースでは，一部の講義科目を除いて，編入生は別クラスで授業を行うことで，学習の順序性を保つこととした。さらに，専門科目に関しては理論と演習，実習とが比較的短い時間で連動するように並ぶよう配置し，実習は，２年間でまんべんなく配置した。さらに，学士力を備えた成人にふさわしく，アクティブ・ラーニングを取り入れて，看護学を自ら学ぶ方法と内容を身につけられるようにした。具体的には，看護学が扱う現象と方法論を理解するための事例を用いた学習，基礎看護学領域の複数の科目統合，成人看護学実習（慢性期）と老年看護学実習との協働，理論学習と実習による体験学習の連続性など，本学の３年制コースをもとに工夫を重ねた。

２．２年制コースのカリキュラムと支援体制　（図４）

１）入学前既修得単位と認定対象科目

入学前既修得単位として認定する単位数の下限値は，教養科目の28単位である。教養科目以外の科目で認定対象となるのは，形態機能学，形態機能学演習，生化学，栄養学，病態生理学，疾病・治療各論，生涯発達論Ⅰ，生涯発達論Ⅱ，メンタルヘルスと家族，集団力動論，セクシャルヘルス，生命倫理，薬理学，感染症学，公衆衛生学・疫学，健康社会学，保健統計学の18の基礎科目で，単位数は合計で31単位である。

したがって，これら全ての科目を既修得単位として認定された場合は，59単位（28単位＋31単位）を認定できる。なお本学の建学の精神に関わるキリスト教概論（教養科目２単位）は，必修科目とした。

認定単位が最大59単位の場合，キリスト教概論の２単位と専門科目の65単位の合計67単位を本学で履修し，最小28単位の場合は，キリスト教概論の２単位と基礎科目の31単位，専門科目の65単位の合計98単位を本学で履修する。これらの単位を２年間でどのように学修するかについは，図４を参照されたい。

また，２年制コースの学修が滞りなく進められるよう，２年制コース受験希望者には，募集時に，アルバイトができないことや，２年間学修に専念できるよう準備を整えてほしいことを通達するものとした。

２）科目履修に関する学習支援体制

学士編入２年制コースの専任助教３名と，編入コース統括責任者を配置した。加えて，健康管理室の保健師，予約制のカウンセリング，聖路加国際病院が編入生の心身の健康を支援する。また，24時間開館の図書館や，専任助手の指導の下，平日は20時まで，土曜日は全日看護

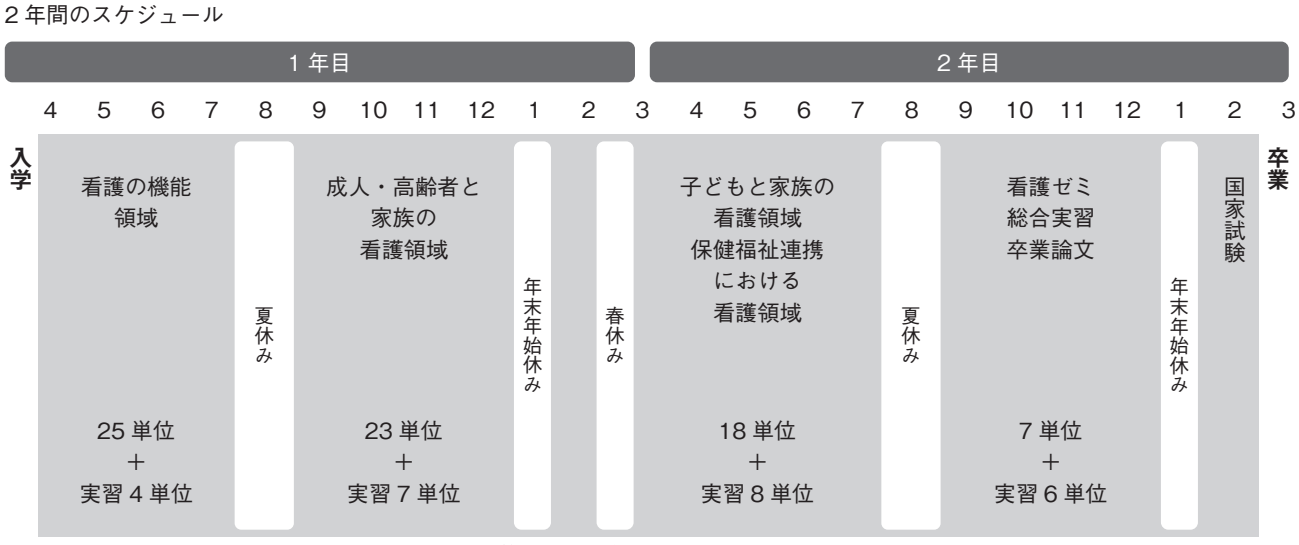


図４　学士編入２年制コースのカリキュラム

技術を自己学習できる実習室を備えている。さらに，自宅等から図書館電子ジャーナルや看護技術動画教材にアクセスできるシステムや，e-ラーニングシステムも有する。

Ⅳ．まとめ

近年，他の専門で学士号を取得した者やすでに他の職業についている者で，看護を学びたいと考える者が増加している。アンケート調査等を実施したところ，学士編入２年制コース開設のニーズがあった。一方で３年制コースの学生・卒業生からは過密なカリキュラムを避けるための授業科目の統合や教授方法の工夫の必要性が指摘された。

そこで，３年制編入生は別クラスで授業を行うことで，学習の順序性を保ち，専門科目の理論と演習，実習は短時間で連動するよう配置し，実習は，２年間でまんべんなく配置した。さらに，成人教育にふさわしく，看護学を自ら学ぶアクティブ・ラーニングを取り入れた。その結果，２年間の学修で十分な教育効果を上げることができる教育内容のコースを開発し，2017年度，30名の２年制コースの編入生を迎え，開講に至った。今後は，実施したコースを評価し，２年間でよりよく学べるカリキュラムとなるよう洗練させていく予定である。

謝辞

学士編入２年制コースのニーズ調査及びプログラム開発は，下記にお示しするワーキンググループの先生方のご尽力によって実現しました。ここに御礼申し上げます。
2014年度：松谷美和子，亀井智子，五十嵐ゆかり，小野智美，高橋昌子，堀内成子，佐居由美，宇都宮明美，長松康子
2015年度：菱沼典子，亀井智子，佐居由美，小野智美，五十嵐ゆかり，宇都宮明美，小林真朝，長松康子，大橋明子，堀内成子，松谷美和子
2016年度：菱沼典子，吉田千文，松谷美和子，藤田俊介，佐藤英明，高橋昌子，必要時領域代表教員
2017年度：吉田千文，佐居由美，西垣佳織，五十嵐ゆかり，池口佳子，高橋奈津子，川上千春，長松康子，倉岡有美子，齊藤あや，下田佳奈，川端愛，松谷美和子，小野若菜子，中嶋秀明
以上，敬称略

引用文献

1）厚生労働省．看護師確保対策．［2017-09-26］．
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000095525.html
2）日本看護協会出版会．平成28年度看護関係統計資料集．2017.
3）Zhan L, et al. Accelerated Education in Nursing: Challenges, Strategies, and Future Directions. New York: Springer；2012.
4）Meyer GA, et al. A Profile of Accelerated BSN Graduates, 2004. J Nurs Educ. 2006；45(8). 324－7.
5）Duke University School of Nursing. Accelerated Bachelor of Science in Nursing.［2017-09-26］.
https://nursing.duke.edu/academics/programs/absn/accelerated-bachelor-science-nursing.
6）University of Washington School of Nursing. ABSN－Accelerated Bachelor of Science in Nursing.［2017-09-26］.
https://nursing.uw.edu/programs/degree/absn/.